

ラグビーワールドカップ 2019 の準備状況について

1. 「ラグビーワールドカップ 2019 の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」決定

2016年2月24日、「ラグビーワールドカップ 2019 の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」が関係府省庁の申し合わせにより決定。

国や開催自治体、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会、公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会等が連携し、大会の成功に向けて取り組んでいる。

2. ラグビーワールドカップリミテッドによる会場視察

※ラグビーワールドカップの運営管理はラグビーワールドカップリミテッド（RWCL）に委託されている。

2016年4月の一カ月間、ラグビーワールドカップ 2019 を開催する 12 会場のうち、10カ所について、詳細な会場視察が行われた。（釜石会場、熊谷会場（大改修中）の2会場は、会場視察ができないため、開催都市によるプレゼンを実施。）視察結果は、RWCL より6月中旬に報告書がまとめられた。

3. チームキャンプ地選定スケジュール（予定）

2016年 5月	<u>組織委員会が公認チームキャンプ地ガイドライン発表</u>
2016年 8月～	組織委員会によるチームキャンプ地選定作業開始
2017年 秋以降	<u>各国チームの候補地視察を受入れ、順次 キャンプ地決定</u> ※オリパラ大会とは異なり、組織委員会がキャンプ地を決定するのが原則
2019年 8月～	大会参加国、キャンプ地入り

4. その他

2017年 5月	京都にてプール組分け抽選会を行う予定
----------	--------------------